



共助型未来都市「デジタルグリーンシティ」 ～官民連携のまちづくりのカタチ～

令和5年9月29日

前橋市 未来創造部 未来政策課 高橋良祐

め
ぶ
く。



Where good things grow.

その芽は、まだ小さい。

風に吹かれ、雨を待ち、太陽の熱さにその身をあずける。

そしていつか、枝をつけ、葉を繁らせ、

強く太い幹となる日を夢見ている。

人は芽だ。この地は芽だ。そしてつながりは芽だ。

いまは幼い芽だけれど、未来の大樹を隠し持つ芽だ。

Where good things grow.

この地ではじまる、芽ぐみ。

ここから、よきものが伸びてゆく。

いくつもの芽が育ち、やがては大きな森をつくっていきましょう。

Where good things grow.

わたしたちは、この地の芽吹きのために、

未来に希望の森を見るために、

厳しくも優しい風になろう。

慈しみの雨になろう。

そして、なによりも熱い太陽になろう。

Where good things grow.

きっと、芽吹く。

前橋の大地の下にはたくさんの種が、そのときを待っている。

前橋ビジョンは、民主導で動き出した

Event

参加無料

事前申し込みはありません。
直接会場までお越しください。

2016年8月3日(水)
18時開場
19時開会
21時30分終了(予定)

夏まつり
ブースも
あるよ!
16:00~

Program

第一部
19:00~20:25

1. 前橋ビジョンの発表
2. プロジェクトの発表

第二部
20:40~21:30

トークセッション

Maebashi Vision


前橋の未来をつくる ビジョンの発表

前橋ビジョン発表会

8/3²⁰¹⁶
(水)

会場
ヤマダグリーンドーム 前橋 メインアリーナ


駐車場のご案内




自動車でご来場される場合は、会場の駐車台数に限りがありますので、なるべく乗り合わせてご来場ください。会場周辺の有料駐車場もご利用いただけます(駐車料金はご自身にてご負担ください)。



山本 龍
(前橋市長)



田中 仁
(田中仁財団代表理事)



糸井 重里
(「ほぼ日刊イトイ新聞」主宰)


お問い合わせ
前橋市政策推進課 027-898-6513
seisaku@city.maebashi.gunma.jp
一般財団法人田中仁財団
info@tanakahitoshi-foundation.or.jp

本年2月より魅力的なまちの将来像を描くための「前橋ビジョン策定プロジェクト」を進めてまいりましたが、中間発表会を経て、遂にその集大成を市民の皆さまに「前橋ビジョン」としてお披露目する運びとなりました。

当日は、前橋市内でこれから新たな取り組みに挑戦する方々によるプロジェクトの発表や、前橋市出身で「ほぼ日刊イトイ新聞」主宰の糸井重里氏をゲストにお迎えするトークセッションを行います。

是非会場まで足をお運びいただき、前橋の未来が大きく動き出す歴史的瞬間にお立ち会いください。

主催：前橋ビジョン実行委員会、前橋市、田中仁財団



昇るか、沈むか。

基本構想



ビジョン〔基本理念〕

前橋の未来に向かって、これまで大切にしてきたまちの誇りや可能性を受け継ぎ、磨き育て、新たな価値を生み出しながら、将来を担う子や孫たちの世代に未来への種として繋いでいくことを、ここに暮らすすべての人で実現するという思いを込めて、「めぶく。～良いものが育つまち～」を地域全体で共有していくビジョンとして掲げます。



将来都市像〔目指すまちの姿〕

「新しい価値の創造都市・前橋」を将来都市像に位置付け、「市民一人ひとりが個性と能力を生かし、個々に輝くことにより新しい前橋らしさを創造するまち」を目指すまちの姿とし、その実現に向けて行政は多様な市民の活動を支えていきます。

これからのまちづくりを進めるキーワードは「地域経営」です。

市民、企業・団体、行政それぞれが、「他人ごと」ではなく「自分ごと」として、地域の課題を捉え、自主的・自律的に、また連携して課題解決に取り組むことが重要であり、そのためには、それぞれの主体が共有できる将来のまちの姿を持つことが大切です。

2016 | 太陽の会 発足



めぶく。 ●民間主導によるまちづくりのビジョン制定

2019 | 前橋デザインコミッション 設立



2019 | アーバンデザイン作成



2022 | デジタル田園都市国家構想推進交付金 TYPE-3 & TYPE-2 (群馬県申請) 採択



2022 | 官民連携会社めぶくグラウンド(株) 設立

2023 | デジ田交付金 TYPE-X, 3, 1 採択

2022

2021

2020

2019

2018

2017

2016

●前橋まちなかまちづくりファンド 設立

●白井屋ホテル開業

●前橋イベント開催

2020 | 先進的まちづくり大賞 国土交通大臣賞受賞



2022 | 夏のDigi田甲子園 アイデア部門 優勝 めぶくEYE



実装部門 準優勝 マイタク



10年にわたる共創のまちづくりがめづいてきた

アーバンデザイン等
【リアルの共創】

&

ICTまちづくり
【デジタルの共創】

アーバンデザイン等【リアルの共創】

民間の力（実働組織の躍動）



前橋市アーバンデザイン（将来ビジョン）



馬場川再整備（SIBの導入）



広瀬川河畔緑地整備（水辺利活用）



リノベーションまちづくり（マチスタント）

太陽の会とは



古くより群馬経済の中心地として栄えた前橋市。かつて群馬一の賑わいを見せた前橋の繁華街も低迷する他の地方都市と同様、現在では「シャッター商店街」へと姿を変えつつあります。東京一極集中による人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を高めて行くためには、地方都市が新たな一步を踏み出すことが不可欠です。このような中、前橋市は地方経済活性化のロールモデルを目指し地域再生プラン「前橋ビジョン」を2016年8月に発表。「太陽の会」は、この前橋ビジョンに共鳴し、「自分たちの街は自分たちでつくる」という精神のもと市内に拠点を置く企業家有志により結成されました。

参画企業は、毎年純利益の1%(最低額 100万円)を前橋市のまちづくりのために寄付金として拠出します。

「太陽の会」の名称は、前橋市の次世代の芽を育てるための太陽になる、との思いから名付けられました。自ら意思決定ができるビジネスリーダーたちが行政と連携しながら議論を重ね、前橋市の次世代を担うモノ・コトへと投資を行い、新しいまちづくりをリードすることをミッションとしています。【R5.6現在 24企業】

主な活動

- アーバンデザインの啓発・ブラッシュアップ
- 都再法人としてモデルプロジェクトの推進
- まちづくりプレイヤーの支援・発掘・育成
- エリアマネジメント支援

※都市再生推進法人 (2020年4月指定)



2023.7.31現在

<推進体制>

- 役員：理事8、監事2
- 常勤：事務局長兼企画局長 1、事務局 1
- 兼業スタッフ：4 ⇒ 広報宣伝プロ
- 研修・人材育成プロ
- デザイナー等

	正会員	賛助会員	(計)
法人会員	72	14	86
個人会員	19	62	81
		(総計)	167

会員絶賛募集中です！

ビジョンプラン編

<まちづくりの方向性>

エコ・ディストリクト

ミクストユース

ローカルファースト

都市の利便さと自然と暮らす居心地の良さを
兼ね備えたまちづくり

住、職、商、学といった
複数用途の混在したまちづくり

地域固有の資源を
最大限活用したまちづくり

<まちづくりの指針>

1. まちなかで住み、働く
2. 水や緑の環境でリラックス
3. 徒歩や自転車でもちを回遊
4. 広瀬川や利根川を楽しむ
5. 通りや広場の更なる活用
6. お店の賑わいを外へ
7. 独自の文化を楽しむ
8. ICTや先進技術を活用する

<まちの将来像イメージパース>

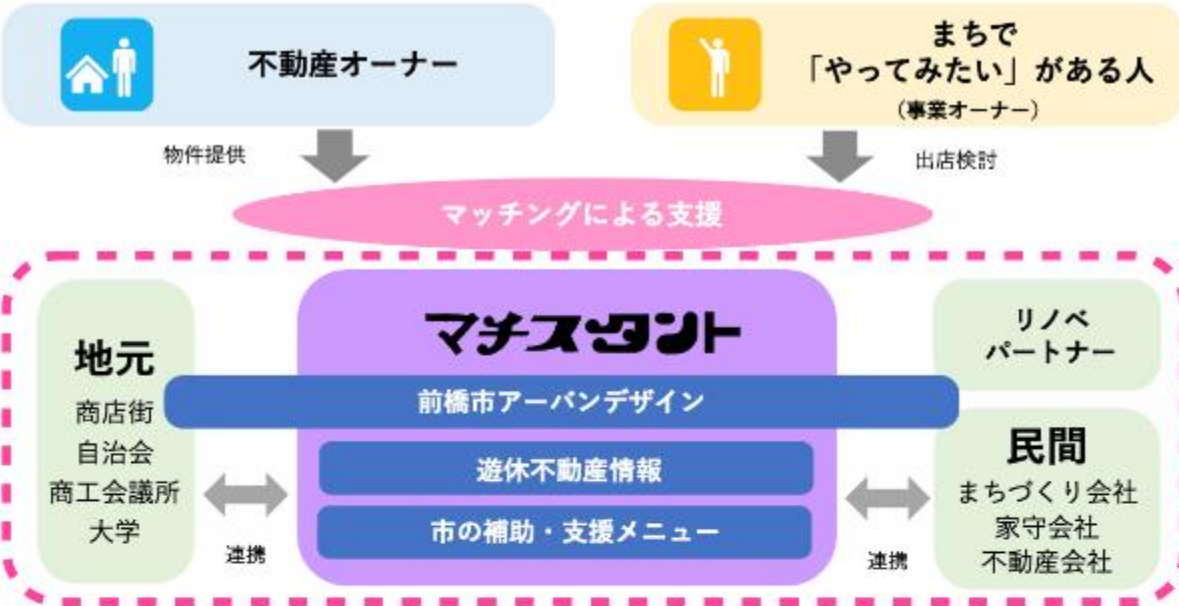




マチスタント

マチスタント ～やってみたくらいのお手伝い～

このまちで新たな一歩を踏み出したい。
 そんなあなたに、ふわりと寄り添うアシスタント。
 空き家、補助制度、このまちの動き、・・・。
 気になることは、どんなことでも聞いてください。
 今よりもっと、楽しくておもしろいまちへ。
 マチスタントは今日も歩き続けます。



まちなか出店、イベントの開催、
 既存の出店者とのコラボ、間借り出店など

まちなかへの新規出店 18件
 イベントの企画、開催 5回
 民間イベントへの支援 10回
 ※R3～4年の実績



しののめ信用金庫 & MINTO 機構 (R3.3ファンド設立)



RENOVATION × FUND



■ 前橋まちなかまちづくりファンドの仕組み



■ 対象エリア

前橋市アーバンデザインのエリア内およびその周辺エリア

■ 対象事業

過去・過去のリノベーション等による再開発及び既存の再開発の活用により、商業施設、住宅施設、文化施設、公共施設等も活用・活用することでの地域の活性化に資する事業も対象とします。

*詳しくは申込書の説明書またはお問い合わせください。



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

まちづくりファンド

令和4年10月11日
都 市 局
まちづくり推進課

前橋市（群馬県）の中心市街地における 寄付金を活用した民間まちづくり事業を支援します！ ～全国第1号！共助推進型まちづくりファンドの設立を決定～

今般、（一財）民間都市開発推進機構（民都機構）は、前橋市と共同で資金を拠出し、共助推進型まちづくりファンド「前橋市アーバンデザインファンド」を設立することを決定いたしました。

同ファンドを通じて、前橋市の中心市街地における、まちなかの居心地の良さの向上に資する民間まちづくり事業等を資金面で支援することにより、地域の賑わい創出に貢献します。

- 国土交通省は、活動や取組自体への共感を持つ人々の寄付（ふるさと納税）等の「志ある資金」による資金拠出を受けながら、一定エリア内で自立的に行われる民間まちづくり事業に対し、民都機構のまちづくりファンドの仕組みを通じて助成を行う「共助推進型まちづくりファンド支援事業」を今年度より実施しています。[資料参照](#)
- 「前橋市アーバンデザインファンド」は、市内に拠点を置く企業家有志からの寄付金を活用しながら、都市利便増進協定等に基づき民間事業者が主体となって実施する馬場川通りの遊歩道公園の親水化や車道の高質化等の事業に対して助成を行い、地域の賑わい創出に貢献します。

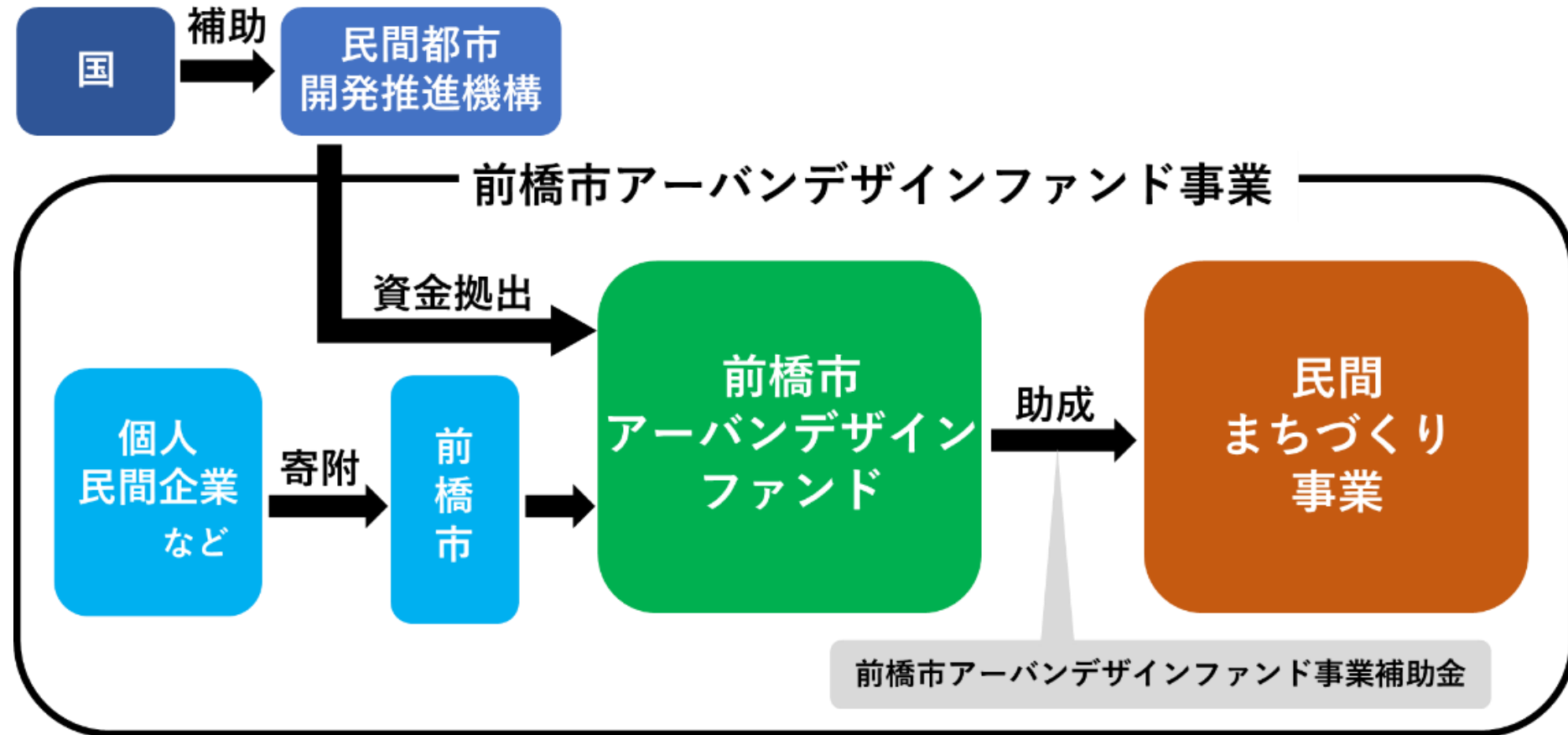


(現在の馬場川通りの様子)

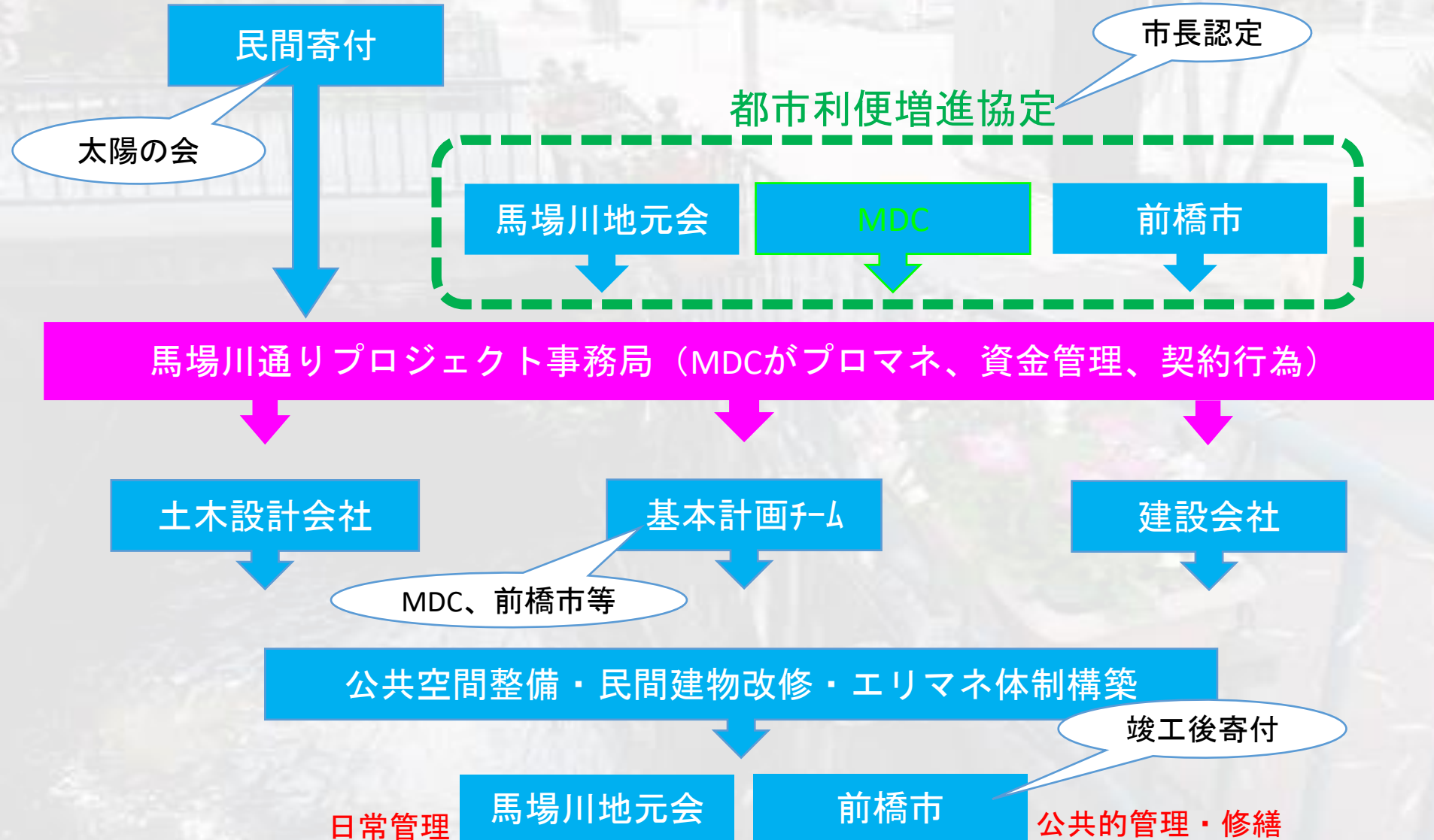


(改修後のイメージ)

民間資金を活用した『新たな仕組みづくり』



都市利便増進協定を活用したスキーム



ポータル

グッドグロウまえばし

利用者の興味や関心に合わせた情報を提供



学び・子育て

メブクラスまえばし

興味・志向に合った学びを受けられる



my Allergy alert

アレルギー情報を給食献立変更等に連携



OYACOpus

育児や検診記録の連携、子育てのチャット相談



Wonder Watch U-GREEN walk

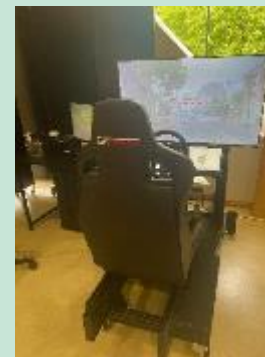
寄り道街歩きや、植物や昆虫を調査しながら自然を学ぶ



高齢者支援

デジタルツイン安全スコアリング

バーチャル前橋をドライブし、運転評価を行う



家電情報による暮らし見守りサポート

家電情報による暮らし見守りサポート



ツナグすぽっと

リモートで人と人がつながる、顔の見える相談窓口



ダイナミックオプトイン

めぶくアプリ (BOOKFES)

共助ポイントを通じた、文化・地域活動活性化



共助

めぶくアプリ (助け合い掲示板)

サポートを必要とする「ありが隊」とサポートしたい人「助け隊」をマッチング



めぶくID&データ連携基盤

めぶくグラウンド（株）が管理・運用
（市民の利益を優先する考え方を徹底）



実施体制図



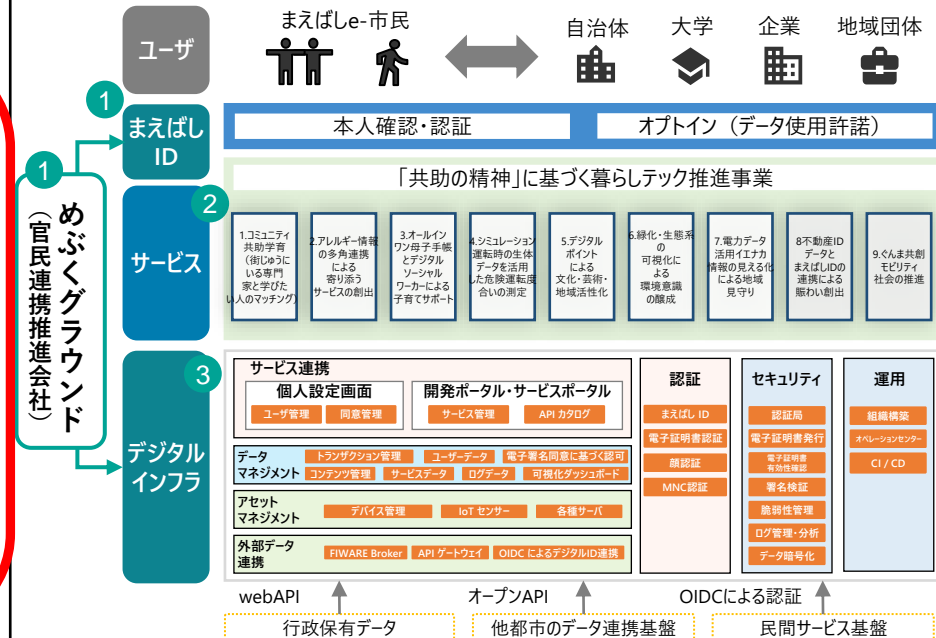
デジ田交付金事業TYPE3
補助率2/3

自治体負担 (1/3) の80%は
臨時交付金措置

官
学で役割を決め推進する。特に民間事業者はIDを活用したサービスアイデアを募っており、今年度に限らずサービスを断続的に創出する体制を組む。

*2022年10月ごろ正式設立に向け関係者調整中

システム構成図



システム構成上のポイント (前橋の強み)

- 1 本市では、**セキュアな統合IDである「まえばしID」**を構築。デジタル上での安心安全性を担保し、自分ごととしてまちづくりに参画できる環境醸成が、コミュニケーション・共助を促していくという「**デジタル市民自治**」の実現を目指していく。また、まえばしIDを通して取得した**データに基づく政策評価**や**街の資金循環**を促し、まちづくりを推進する**官民連携会社「めぶくグラウンド」**を設立する。
- 2 前橋が掲げる一人ひとりのWell-beingを実現するために、人を基軸としたサービスの提供を目指す。従来の分野に閉じる縦割りの考え方ではなく、**人を基軸として分野横断的にサービスを検討**することで、**デジタル田園都市国家構想の重視する複数データの連携による付加価値の高いサービスの創出**を目指す。
- 3 本市のデータ連携基盤が最も重視している設計思想が、「**自己主権**」に基づく**データ管理**である。情報を吸い上げるのではなく、利用者が自分の意志でデータを提供する相手方を選択できて初めて、円滑なデータ提供と利用が可能となる。自己主権で決定されたデータ提供だからこそ、**本人同意に基づくデータ分析・個別最適化されたサービスのレコメンド・提供が可能となる。**

アーキテクト：企画立案・実施推進

<デジタル>	<地域理解>	<新事業創造>	<まちづくり>	<人材育成>
<p>福田尚久氏 日本通信株式会社 代表取締役社長 公立大学法人前橋工科大学 理事兼</p>	<p>曾我孝之氏 前橋商工会議所会頭</p>	<p>國領二郎氏 慶應義塾大学 教授</p>	<p>山本龍氏 前橋市 市長</p>	<p>大森昭生氏 学校法人共愛学園理事/ 共愛学園前橋国際大学学長</p>
<まちづくり>	<空間デザイン>			
<p>田中仁氏 知的財産戦略本部構想委員会 委員 株式会社ジンスホールディングス 代表取締役CEO</p>	<p>谷川じゅんじ氏 JTQ 株式会社 代表</p>			

スーパーバイザー：
Well-being指標の分析・評価

南雲岳彦氏
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート

官民連携会社（めぶくグラウンド）*
ビジョン実現に向けた基盤等の運営

まちづくりへの求心力

官民共創で新会社設立 めぶくグラウンドが始動しました

☎めぶくグラウンド ☎050-8885-6594

地元金融機関や民間企業などと連携した、官民共創の新会社「めぶくグラウンド」が10月6日に設立。デジタル個人認証・めぶくIDの発行とデータ連携基盤の提供により、学びや健康などのさまざまな分野で市民サービスの向上につなげます。詳しくは同社ホームページをご覧ください。



詳しくはこちら



めぶくグラウンド株式会社（R4.10.6設立）

資本金	3億円	
発起人	カネコ種苗(株)	5,000万円
	(株)コシダカホールディングス	5,000万円
	(株)ジンスホールディングス	5,000万円
	日本通信(株)	5,000万円
	(株)ヤマト	5,000万円
	(株)群馬銀行	1,500万円
	(株)東和銀行	1,500万円
	しのめ信用金庫	1,500万円
	前橋市	500万円

※下線は市内本社企業・金融機関

※市は直接経営に関わっていない（出資のみ）

※ただし、市は社内組織「データガバナンス委員会」に参画し、市民のデータ保護等を確認



適切な役割分担で、前橋における
官民共創の代表事例に

めぶくグラウンド株式会社

代表取締役 曾我孝之（前橋商工会議所名誉会頭）
 取締役 大森昭生（共愛学園前橋国際大学学長）
 取締役 國領二郎（慶応義塾大学教授）
 取締役 田中 仁（株）ジズホールディングスCEO）
 取締役 谷川じゅんじ（JTQ株式会社代表）
 取締役 福田尚久（日本通信株式会社代表取締役）

アーキテクト：企画立案・実施推進

<p><デジタル></p>  <p>福田尚久氏 日本通信株式会社 代表取締役社長 公立大学法人前橋工科大学 理事長</p>	<p><地域理解></p>  <p>曾我孝之氏 前橋商工会議所会頭</p>	<p><新事業創造></p>  <p>國領二郎氏 慶應義塾大学 教授</p>	<p><まちづくり></p>  <p>山本龍氏 前橋市 市長</p>	<p><人材育成></p>  <p>大森昭生氏 学校法人共愛学園理事／ 共愛学園前橋国際大学学長</p>
<p><まちづくり></p>  <p>田中仁氏 知的財産戦略本部構想委員会 委員 株式会社ジズホールディングス 代表取締役CEO</p>	<p><空間デザイン></p>  <p>谷川じゅんじ氏 JTQ 株式会社 代表</p>			

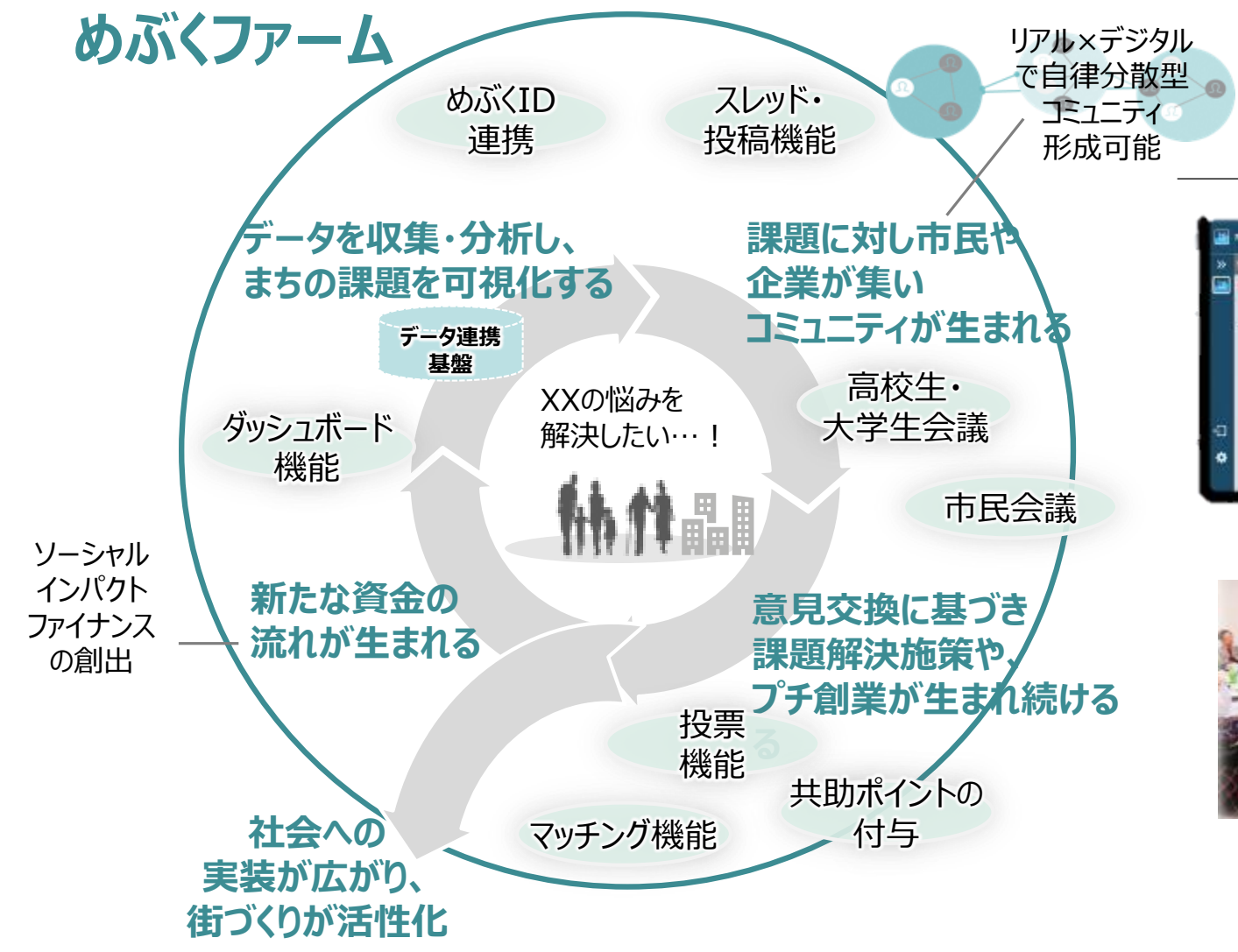
めぶくグラウンドのバリュー



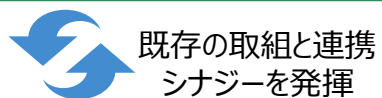
様々な公益・準公共・民間サービスを支援し、
 その知見や利益は地域社会へと循環還元させ、持続可能なまちづくりを支えます。

だれでも自由にまちづくりに参画できる、自律分散型コミュニティを形成

めぶくファーム



会議イメージ（リアル・オンライン）



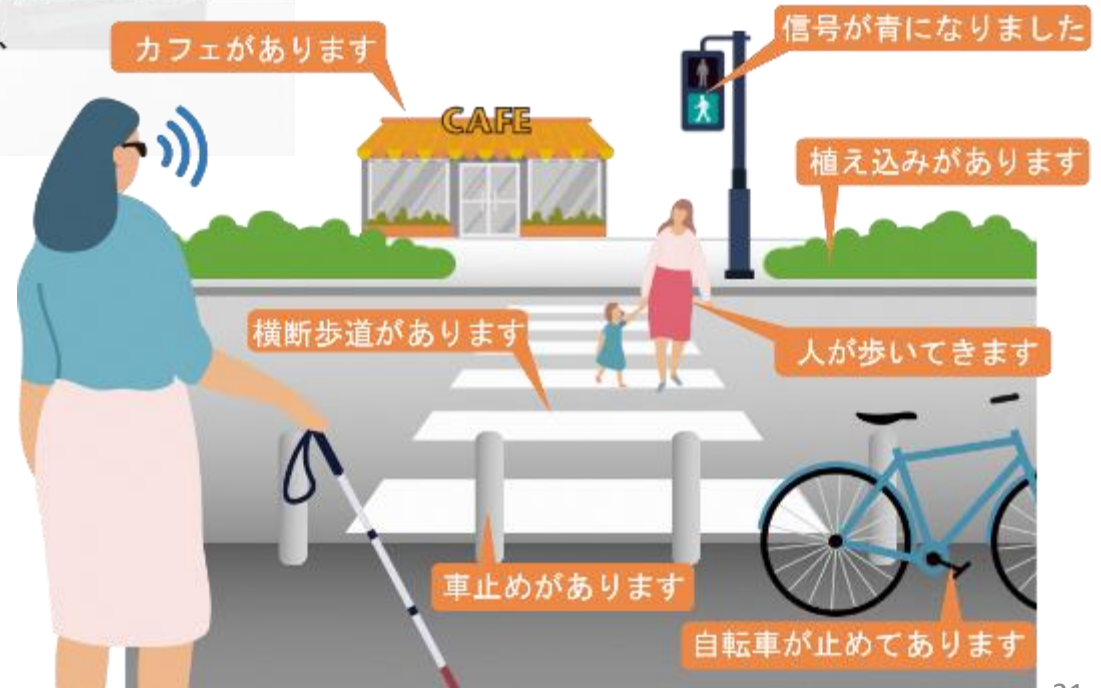
めぶくEYE

視覚障がい者自立歩行
サポートシステム



めぶくEYEは、スマートフォンのカメラとAI技術により、
歩行の妨げとなる道路状況を検出。

夏のDigi田甲子園
アイデア部門 優勝



官民の連携で もっとおもしろいまち まえばしへ



R4.10.29,30 マエバシ BOOK FES …… 本の交換で市民が、まちが元気に